



## 1. 世界全体の日本語教育の状況

世界全体の日本語教育は 133 か国において実施され、日本語学習者は約 365 万人。

今回の調査では、2009 年現在、海外の 133 か国\*（厳密には 125 か国と 8 地域）において、日本語教育が行われていることが確認できた。

日本語教育を行っている機関数、教師数、学習者数は次のとおりである。

2009 年調査**		2006 年調査	
◆機関数	14,925 機関	◆機関数	13,639 機関
◆教師数	49,803 人	◆教師数	44,321 人
◆学習者数	3,651,232 人	◆学習者数	2,979,820 人

\* <台湾>を加えるので 133 か国となる。

\*\* <台湾>の（財）交流協会の調査の数値を含む。

本調査は、海外において日本語教育を実施している機関に対して実施したものであり、ここでの学習者数は機関に所属して日本語を学習している人の数である。日本語教育機関に通う以外にも、テレビやラジオ、インターネットの日本語講座や、個人教授での学習者などがあることから、実際に日本語を学習している人は、本調査で把握された日本語学習者数よりももっと多いものと推測される。

2009 年調査で日本語教育が実施されていることが確認できた国は、2006 年調査と同じく 133 か国であったが、その内訳として新たに 7 か国で実施されていることが確認できた一方で、2006 年調査では確認されていた 7 か国で実施されていることが確認できなかった。増減した国の内訳は次のとおりである。

◆2009 年調査で新たに日本語教育が実施されていることが確認できた国・<地域>

<プエルトリコ> (3)
トルクメニスタン (1)
エチオピア (1)
カメルーン (1)
コートジボアール (1)
タンザニア (1)
ブルキナファソ (1)

◆2009 年調査で日本語教育が実施されていることが確認できなかった国・<地域>

キリバス (1)
バヌアツ (3)
フィジー (4)
アンドラ (1)
モンテネグロ (1)
スーダン (1)
コンゴ民主共和国 (1)

\* 国・<地域>名のあとの ( ) 内の数字は、日本語教育機関数を表わす。

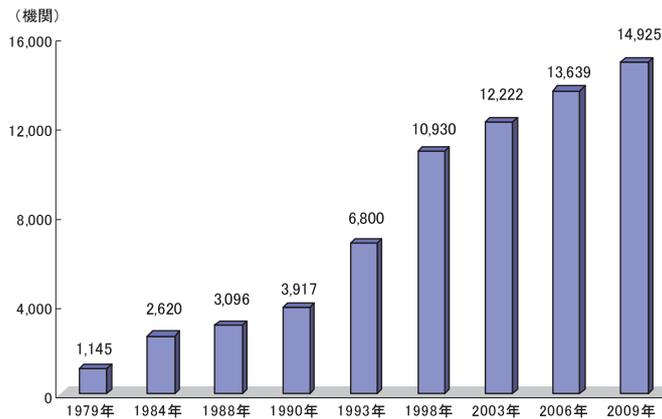
1. 世界全体の日本語教育の状況

世界全体の学習者数は、2006年調査から22.5%増の3,651,232人。  
機関数、教師数ともに大きく増加。

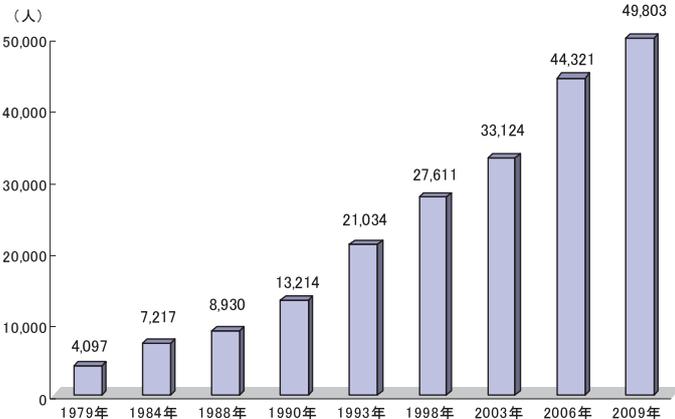
1979年以降、機関数・教師数・学習者数は一貫して増加している。特に1990年から93年の3年間で機関数が3,917機関から6,800機関と73.6%も増加し、学習者数も981,407人から1,623,455人へと大幅に増加している。その後も順調に機関数・教師数・学習者数とも増加を続けており、2009年調査においてもすべてが2006年調査から増加していることが確認できた。3年間で機関数は9.4%増加して14,925機関、教師数は12.4%増加して49,803人、学習者数は22.5%増加して3,651,232人となっている。特に学習者数が大きく増加している。(グラフ1 日本語教育機関数・教師数・学習者数の推移)

グラフ1 日本語教育機関数・教師数・学習者数の推移

機関数の推移



教師数の推移



学習者数の推移

